

「(仮称)せんだいこども若者プラン 2025」(中間案)に 寄せられたご意見と、仙台市の考え方について

【こども(18歳未満)からの意見】

意見の種類	意見の数
第3章 基本理念・基本的な視点などについての意見	5件
第4章 施策の展開についての意見	28件
視点1(こども・若者の最善の利益の実現に向けた施策の推進) こどもの権利、こども意見 など	(3)
視点2(こども・若者の成長を支える取り組みの充実と、安全・安心な環境の確保) 教育、遊び場、通学路、いじめ対策、居場所 など	(19)
視点3(自分らしい暮らしの実現と、ライフステージに応じた切れ目のない支援の 充実) 夢や希望の応援、子育て負担軽減 など	(5)
視点4(地域社会全体でこどもの育ちと子育てを応援している環境づくり) 地域との交流	(1)
ごうけい 合計	33件

※18歳未満の人には、こども向けの中間案概要版を配ったり見てもらったりして、意見を募集しました。
※いただいた意見は、回答フォームなどで入力された区分もみながら、内容をみて分けています。

第3章 基本理念・基本的な視点等についての意見(5件)

No.	意見の内容	仙台市の考え方
1	障害があってもなくても、楽しく自分なりに過ごせる時間をふやしてほしい。	仙台市では、障害のある人にとっても、障害のない人にとっても、みんながぐらしやすいまちに していくため、障害のある人の生活のお手伝い をしたり、スポーツや趣味などの活動がもっと楽 しめる機会をつくったりする取り組みをしていま す。 ご意見を受けて、より分かりやすく伝わるように 計画の 45 ページ、「(3)自分らしくいられる

No.	意見の内容	仙台市の考え方
		居場所づくり」の文章を、「日常の中で、年齢や性別、国籍、障害の有無などに関わらず、誰でも気軽に利用でき、……」と修正しました。 これからも、障害のある・なしに関係なく、みんなが自分らしく、幸せに生きられるまちづくりをすすめていきます。
2	この2つ(※仙台市注：基本的な視点1の施策の方向性)だけが子どもにとって最もよいことだと言えるとは思いません。	「①子どもにとって「最もよいこと」の実現を目指します！」の取り組みとしてあげている、「子どもの権利をまもる」「みんなの意見を大切にして、発言できる場所や機会をつくる」の二つは、子どもについて良いことをみんなで考えていくときの、基本的な考え方としてここにのせました。 この二つだけが「よいこと」ではないというのはそのとおりで、新しい計画では、この考え方を忘れないようにしながら、子どものみなさんが幸せにくらすためのいろいろな取り組みをたくさん考えていきます。
3	子どもにとってよいこと、それは将来のためになることだと思います。よいことの実現のために、様々な政策が行われると良いと思います。	
4	子どもをもっと優遇してほしい。	
5	ひとりひとりを思って大人には行動してほしい。もし多数決をしても少数派の人の意見も聞いてほしい。みんながかつやくでできるようなしゃかいになってほしい。	

第4章 施策展開についての意見(28件)

★基本的な視点1(子ども・若者の最善の利益の実現に向けた施策の推進)についての意見(3件)

No.	意見の内容	仙台市の考え方
6	「子どもの権利を守る」の中で、差別されないというのは、みんなが平等であるので、とてもいいことだと思う。 ですが、以前、私の学校には、海外から来た女の子がいて、その子のことを、周りの子が肌の色のことでからかっていました。 私やまたその周りの人たちはそのことを知っていましたが、これは言うべきかどうか	学校の授業に「人権教育」という名前の教科はありませんが、道徳や特別活動といった授業の中で、いじめや差別の防止などを含めた、よりよい仲間づくりについて学べる機会を作っています。 また、基本的人権や子どもの権利条約、男女共同参画、高れい者や障害者の福祉などについては、社会科や家庭科、保健体育の授業の中でも学習します。

No.	意見の内容 いけん ないよう	仙台市の考え方 せんだいし かんが かんが
	か迷ったり、からかっていた人たちに今度は自分がいじめられないかと思い、なかなか先生に言い出せないままでした。 結局、その子は自分の国に帰ってしまっ て、そのからかっていた人たちはすごく喜 んで、面白がっていました。今考えると、 なんで言えなかったのだろうとずっと後悔 しています。 学校では人権についての授業があまりな いので、このようなことが起きてしまったの かと思います。 なので、もっと、学校で人権について学べ る機会があればと思います。	仙台市でも、こどものみなさんが持っている 権利について、みなさん自身が知っていくこと は、みなさんが自分らしく、幸せに生きられるま ちをつくるため、とても大切なことだと考えてい ます。 ご意見にあったようなことをなくすためにも、こ れからもそれぞれの学校で、教育活動全体を とお じんけんきょういく と く けんり し 通して人権教育に取り組み、権利について学べ る機会をつくっていきます。
7	こどもが意見を言いやすくするにはどうす るのですか。	令和5年に行ったアンケートでは、「こどもの声 を取り入れていく方法について、どんなものが あればいいと思いますか。また、どんなものが 意見を言いやすいですか」という質問に、こども のみなさんから「インターネットがいい」、「紙で のアンケートがいい」、「名前を出さないで意見 をいいたい」、「意見を言うのが苦手なので大人 に意見を出す手伝いをしてほしい」など、いろい ろな意見がありました。 仙台市では、意見を聞くとときに大事な考 え方について、こどもに関わる大人みんなでも共有しな がら、意見を言う方法をいくつも用意するなど、 みなさんが意見を言いやすい工夫をしていきま す。
8	私の担任の先生は、暴言を吐いたり、す ぐ怒ったりするし、誤った解釈で怒って、 生徒が何か言っても聞く耳を持ちません。 さらに、「俺は大人だから君たちより俺の ほうが上だ」などと言ったりします。	こども基本法の中では、年れいにかかわらず、 こどもの意見も大切にしながら、こどもに関わる いろいろな取り組みを決めていかなければなら ないとされていて、仙台市の新しい計画でも、 この考え方を大事にしています。 先生一人ひとりが、こどもの権利や意見を聞く ことの大切さを理解し、児童に寄りそった教え

No.	意見の内容 いけん ないよう	仙台市の考え方 せんだいし かんが かんが
	なので、ちゃんと生徒の言っていることも聞いて欲しいし、こども(生徒)に誤った考え方を吹き込まないでほしいです。	方、関わり方をしていくよう、これからも努めていきます。

★基本的な視点2(こども・若者の成長を支える取り組みの充実と、安全・安心な環境の確保)についての意見(19件)

No.	意見の内容 いけん ないよう	仙台市の考え方 せんだいし かんが かんが
9	宿題の廃止(自主学習を毎日やるのがいい)	宿題などの家庭学習は、それぞれの学校で、授業の内容や学年に合わせて、内容を考えながら決めています。 最近では、一人ひとりの興味・関心のある内容を選んで取り組む自主学習や、それぞれのペースや力にあわせて取り組めるデジタルドリルなども取り入れながら、これからの社会を生きるこどものみなさんが、自分で目標を持って取り組む力、課題を解決する力などを高めていけるよう工夫しています。 今後は、決められた課題に取り組むだけでなく、みなさんが学ぶ楽しさを感じながら、必要な学習を自分で見つけて取り組めるような方法についても、学校と一緒に考えていきます。
10	私は、環境のことについて興味があり、世界の気候変動のことなどいろいろな調べています。 ですが、自分の住んでいる仙台市の環境の置かれている状況や取組はよく知りません。もっと仙台市の環境のことについて知れる機会があったらと思います。	仙台市の環境の状況や、環境に関する取り組みについては、1年ごとに「仙台市の環境」という報告書にまとめており、仙台市のホームページで見ることができます。 ほかにも、環境について学べるイベントやキャンペーン、市内の生き物、資源循環の活動などについて、 「せんだい環境 Web サイトたまきさん」や環境局公式Instagramでお知らせしているので、ぜひ見てみてください。

No.	意見の内容 いけん ないよう	仙台市の考え方 せんだいし かんが かんが
		みなさんがくらす仙台市の環境について、みなさん自身に知ってもらふ機会をつくることは、大切なことと考えています。 これからも、わかりやすく伝えられるよう努めていきます。 【仙台市の環境】 https://www.city.sendai.jp/kankyo-chose/kurashi/machi/kankyohozen/chosa/kankyo/index.html 【せんだい環境Web サイトたまきさん】 https://www.tamaki3.jp/ 【環境局公式Instagram】 @sendai.kankyo
11	もっと公園を作って欲しいです。理由は私の住んでいる地域に公園がないからです。	公園は、「都市公園法」という法律で、作ることができる場所が決まっています。公園をつくることのできる場所なのに、周りに公園がない場合は、その場所がどんな状況かも考えながら、どこに作るのがよいかなどをみんなで話し合っています。
12	公園を増やしてほしい。	これからも、そこに住んでいるみなさんの意見を聞きながら、新しい公園づくりについて考えていきます。
13	こどもが遊びやすい公園を作る、遊びを教える人をふやすのがいい。	公園は、小さいこどもからお年寄りまで、いろいろな年れいのひとが利用するところです。仙台市では、公園をつくったり、ルールを決めたりするときは、こどもたちを含めたみんなが楽しく公園を使えるよう、近くに住んでいるひとたちの意見を聞きながら、公園づくりを進めています。 また、こどもに遊びを教えてくれる人を増やす取り組みもしています。 これからも、こどもが楽しく遊べる場所をつくるため、いろいろな取り組みを進めていきます。

No.	意見の内容 いけん ないよう	仙台市の考え方 せんだいし かんが かんが
14	仙台市には無料遊具施設がないので、雨でものびのびと運動できる場所が欲しいです。	仙台市では、雨の日でも運動できる建物の中のアソビ場について、令和7年度から新しい計画を作り始め、どこに作るか、いつ作るか、どんな風に使用してもらうかなどを決めていきます。 これからも、子どもや周りのみなさんの意見を聞きながら、いろいろな体験や活動ができる場所をつくっていきます。
15	みんなが楽しく過ごせる場所を増やすことで、子どもが楽しめる場所を増やしたり、児童館などの子どもが行く施設のサービスを増やしたりしてほしいです。	仙台市では、子どもが楽しめる場所・施設として、屋内のアソビ場を作る準備を進めています。それ以外にも、自然遊びができるイベントなどを開催していく予定です。 また、児童館では、やってみたいことやほしいものなど、利用する子どもたちの意見を聞きながら、みんなが楽しく過ごせる場所になるように、一緒に考えていきたいと思っています。
16	幼稚園や学校などをもっと衛生的にすると、のびのびと安全に過ごせると思います。	仙台市では、幼稚園や保育園、学校の建物は、古くなった順番に建て替えたり、こわれたところを直したり、こまめに掃除をしたりするなどしています。 みなさんが安心して気持ちよく学校などですごせるよう、よりいっそう施設を安全・清潔に保つための取り組みを進めています。
17	街にもっと緑を増やせば空気がきれいになるし、地球温暖化を防止することができると思います。	仙台市では、「仙台市みどりの基本計画2021-2030」という計画の中で、「みどりと共生するまち」という基本的な考え方を決めていて、くらしにかかせない、いろいろなみどりの恵みをこれからもずっと受け取ることができ、「持続可能な都市」（未来に向けてずっと続くまち）として成長できるまちを目指しています。 この考え方にそって、街路樹を植えたり、生垣をつくるのを助けたりするなど、仙台のまちにみどりを増やす取り組みを日々進めています。 これからも、みどりの持っているいろいろな力をいかして、まちづくりを進めています。

No.	意見の内容 いけん ないよう	仙台市の考え方 せんだいし かんが かんが
18	ひとで ふう 人手を増やす。	れいわ ねんど おこな 令和5年度に行ったこともや大人へのアンケート トや意見の聞き取りでは、子どもを安全に見守 れるよう、また、一人ひとりの仕事が大変になら ないように、学校の先生や子どもに遊びを教え る人、子どもに関わる施設ではたらく人などの 人数を増やしてほしいというような意見がありま した。 あた けいかく なか たの 新しい計画の中でも、楽しくはたらせるように したり、子どもに関係する仕事をもっと知っても らうようにしたりして、子どもに関わる仕事をし たいという人が増えるように取り組んでいきま す。 また、はたらく人たちが大変になり過ぎないよう に、意見を聞きながら、より良いはたらき方につ いて一緒に考えていきます。
19	わたしたち す 私達が住んでいる地域には、防犯カメラ が少なく、登校や下校のときと公園にいる ときに少し「大丈夫かな？」と不安になるこ とがあるので、防犯カメラを付けて欲しい です！	ぼうはん 防犯カメラは、その場所にくわしい、そこに住ん でいる人たちが話し合っ、みんなが納得した 上で取り付けることが大切です。 そのため、仙台市では、そこに住んでいるひとた ちが考えて取り付けたカメラに、市がお金を出 して支援するという形が一番よいと考えてい ます。いまは、防犯活動をしている町内会など 地域の団体に、防犯カメラを取り付けるための お金の一部を補助しています。 「安全のため、ここに防犯カメラが必要だ」と思 った時は、まずはまわりの大人にそのことを話し てみてください。そして、みんなで話し合っ、と り付けることが決まったら、ぜひこの制度を使っ てみてください。 これからも、仙台市に住むみなさんの安全を守 れるよう、取り組みを進めて行きます。
20	ぼく す 僕らが住んでいる地域は道が細く、車と 車がすれ違ふと周りの建物に当たりそう なときがあるのでもう少し道の幅を広げて	せんだいし どうろ 仙台市の道路については、「仙台市道路事業 方針」というもののなかで、これからどんなみちづ

No.	意見の内容 いけん ないよう	仙台市の考え方 せんだいし かんが かんが
	ほしいなと思（おも）いました。もしくは道路（どうろ）を いっぽうつうこう 一方通行にするなどをしてほしいです。	くりをしていくかの基本的（きほんてき）な考（かんが）え方を示（し）、い ろいろな取（と）組（く）みを進（すす）めています。 たとえば、通（つう）学（がく）路（ろ）や、園（えん）児（じ）などがいつもみんなで とお どうろ にちじょう つか せいかつどうろ 通（と）る道（どう）路（ろ）、日（に）常（じょう）でよく使（つか）う生（せい）活（かつ）道（どう）路（ろ）などについ て、安（あん）全（ぜん）性（せい）や緊（きん）急（きゅう）性（せい）、歩（ほ）道（どう）のつながりなどを かんが せいでい せいでい 考（かんが）えながら、歩（ほ）道（どう）を広（ひろ）げたりする整（せい）備（び）を進（すす）めて います。 これからも、こどもや高（こう）れい者（しゃ）障（しょう）害（がい）のある人（ひと） をはじめとした、仙（せん）台（だい）市（し）でくらす人（ひと）々（々）の安（あん）全（ぜん）を まも ちいき こうつうあんぜんたいさく ほどう 守（まも）るため、地（ち）域（いき）にあつた交（こう）通（つう）安（あん）全（ぜん）対（たい）策（さく）や、歩（ほ）道（どう） の整（せい）備（び）などを進（すす）めていきます。
21	ぎゃくたい 虐（ぎゃく）待（たい）やいじめがあつたときに、うま（たい）く対（たい）応（おう） できるかどう（か）か。それ（お）に起（お）こさないよう（に） するた（あん）め（かんが）の案（あん）をもつ（かんが）と考（かんが）えてほ（い）しい。	仙（せん）台（だい）市（し）では、虐（ぎゃく）待（たい）やいじめをしては（い）けな（い）いこ となど、「こ（けん）ど（り）も（の）の権（けん）利（り）」につ（ひろ）いて広（ひろ）めたり、こ（こ）ど（も） の大（たい）変（へん）な状（じょう）況（きょう）にす（き）ぐに気（き）づく、大（たい）変（へん）な状（じょう）況（きょう） になる前（まえ）にこ（こ）ど（も）を（まも）るた（か）め、家（か）庭（てい）に訪（ほう）問（もん）して ようす み そうだん そうだん つく 様（よう）子（す）を見（み）たり、い（い）つで（で）も相（さう）談（だん）でき（き）る所（ところ）を作（つく） たりするな（な）ど、い（い）ろい（ろ）ろな人（ひと）と協（きょう）力（りき）しな（し）が（が）ら、こ（こ） ど（も）を（まも）るた（か）め（と）の取（と）組（く）み（を）して（い）ま（す）す。 こ（こ）れ（か）ら（も）、こ（こ）ど（も）を（まも）るた（か）め何（なに）が（か）で（で）きるか（か）を かんが と く かんが すす 考（かんが）えな（な）が（が）ら、取（と）組（く）み（を）考（かんが）え、進（すす）め（め）て（て）い（い）き（き）ま（ま） す。
22	わたし 私（わたし）は（い）じめ（う）を（う）け（て）い（た）こ（ろ）が（あ）るの（の）で すが、当（とう）時（じ）の私（わたし）は（じ）か（ん）が（かい）けつ と思（おも）っ（て）い（て）、ず（ず）つと相（さう）談（だん）せ（せ）ず（ず）に（い）たら（ら）、 けっきょくつき がくねん 結（け）局（きょく）次（じ）の学（がく）年（ねん）に（な）るま（ま）で（で）い（じめ）は（つづ）つ 続（つづ）いて（い）ま（し）た（ら）し（た）。い（い）つで（で）も相（さう）談（だん）で（き）る所（ところ）を（を） つく そうだん ひと い み 作（つく）つ（て）も相（さう）談（だん）する人（ひと）が（い）な（な）け（け）れ（れ）ば（ば）意（い）味（み）が（が） ないと思（おも）うの（の）で、「時（じ）間（かん）が（かい）けつ じ かん かいけつ 時（じ）間（かん）が（かい）けつ（て）く（く）れ（れ）るこ（こ） とは（は）ほ（ほ）ぼ（ぼ）な（な）い」とい（い）う（う）や（や）う（う）な（な）こ（こ）と（と）を（を）認（にん）知（ち）さ（さ）せ ら（ら）れるイ（い）ベ（べ）ン（ん）ト（と）等（とう）の開（かい）催（さい）を（を）プ（ぷ）ラ（ら）ん（ん）に（に）追（つい）加（か）す するの（の）は（は）ど（ど）う（う）で（で）し（し）ょう（しょう）か（か）。	仙（せん）台（だい）市（し）では、い（い）じめ（な）にな（な）や（や）む（む）児（じ）童（どう）生（せい）徒（と）・保（ほ）護（ご）者（しゃ） のみ（み）な（な）さん（さん）に（に）向（む）け（て）、リ（り）ー（り）フ（ふ）レ（れ）ッ（ッ）ト（ト）や、ホ（ほ）ー（ほ）ー（ほ）ム（ム）ペ（ペ）ー（ー） ジ（じ）「は（は）じ（じ）め（め）の（の）い（い）っ（っ）ぽ（ぽ）」な（な）ど（ど）に（に）よ（よ）り、な（な）や（や）み（み）を（を）か（か）か（か）え こ（こ）ま（ま）ず（ず）に（に）相（さう）談（だん）し（し）て（て）も（も）ら（ら）え（え）る（る）よ（よ）う（う）、相（さう）談（だん）窓（まど）口（ぐち）を（を）お（し）知（ち） ら（ら）せ（せ）し（し）て（て）い（い）ま（ま）す（す）。 こ（こ）れ（か）ら（も）、こ（こ）ど（も）た（た）ち（ち）が（が）一（ひと）人（り）で（で）な（な）や（や）む（む）こ（こ）と（と）の（の）な い（い）よ（よ）う（う）に、い（い）た（た）だ（だ）い（い）た（た）ご（ご）意（い）見（けん）を（を）参（さん）考（こう）に（に）し（し）な（な）が（が）ら、 はや そうだん たいせつ つた 早（はや）め（め）に（に）相（さう）談（だん）する（する）こ（こ）の（の）大（たい）切（せつ）さ（さ）を（を）伝（つた）え（え）る（る）と（と）も（も）に、 そうだんまどぐち おお かんが し と く 相（さう）談（だん）窓（まど）口（ぐち）を（を）よ（よ）り（より）多（お）く（く）の（の）方（かた）に（に）お（し）知（ち）ら（ら）せ（せ）す（す）る（る）取（と）組（く） み（み）を（を）考（かんが）え（え）、進（すす）め（め）て（て）い（い）き（き）ま（ま）す（す）。
23	おとな 大（お）人（とな）とコ（こ）ミュ（き）ュ（き）ー（き）ー）シ（し）ョ（し）ョ（し）ン（ん）を（を）取（と）る（る）機（き）会（かい）を（を）多（お）く（く）する（する）。	仙（せん）台（だい）市（し）では、れ（れ）い（い）わ（わ） ね（ね）ん（ん）ど（ど） お（お）こ（こ）な（な） お（お）とな（な） 仙（せん）台（だい）市（し）では、令（れい）和（わ）5（ご）年（ねん）度（ど）に（に）行（い）っ（つ）た（た）こ（こ）ど（も）や（や）大（お）人（とな） へ（へ）の（の）ア（い）ン（けん）ケ（き）ー（き）ー）ト（と）や（や）意（い）見（けん）の（の）聞（き）き（と）取（と）り（り）の（の）結（け）果（か）な（な）ど（ど）か ら、こ（こ）ど（も）若（わか）者（もの）が（が）自（じ）分（ぶん）ら（ら）しく（く）幸（しあ）せ（え）に（に）生（い）き（き）ら（ら）れ

No.	意見の内容 いけん ないよう	仙台市の考え方 せんだいし かんが かんが
		「まち」の実現のためには、子どもがいろいろな年れいの人と交流をもつことのできる機会や場所があることが大切だと考えています。 新しい計画を進めていく中では、そのような機会や場所を作ることにについて、こどものみなさんの意見を聞きながら考えていきます。
24	図書館に自習室を作りたいです。 図書館だと静かなので勉強に集中できると思ったからです。 もし、作るなら自習室をなるべく広くしてほしいです。なぜなら、高校生や中学生が使っていて、席がうまっていて使えないときがあるかもしれないからです。	図書館は、「図書館の本を読んだり、調べものに使ったりしてもらうこと」を目的にした場所なので、「自習室」という部屋を作ることはむずかしいですが、図書館の本を使って調べものをするための席のほかに、勉強など自由に使うことのできる席(自由閲覧席)があるので、集中して勉強したいときなどは、ぜひ使ってください。 これからも、ご意見を参考にしながら、みなさんが利用しやすい図書館をつくっていきます。
25	友達と勉強できるところが少なく、あまり友達と一緒に勉強ができません。なので、コミュニティセンターや土日に学校を開放して、自習室を作りたいです！	コミュニティ・センターは、子どもを含めた近所に住む人たちが、いろいろな活動をしていくために使ってもらえる場所なので、使う目的を決めた「自習室」という部屋を作ることは少しむずかしいです。ごめんなさい。
26	私は、勉強をしているときに集中力が切れ、あまり集中できないことがあります！なので、運動ができて勉強もできる施設を作りたいです！	子どもが利用できる施設や居場所を新しく作る時は、どこに作るか、どれくらいお金がかかるか、どれだけその施設が必要か、今ある施設の使い方を変更するのはどうか、などについて、みんなで話し合いながら決めていく必要があります。 今回いただいたご意見を参考にし、どういう施設が子どもや若者にとって利用しやすいかを考えながら、みなさんの居場所づくりの取り組みを進めていきます。
27	私は学校に行きたくないのですが、自分らしくいられる場所はありません。	仙台市には、学校に行くことに不安やなやみを持つ生徒が通うことのできる校外の施設として、「児遊の杜」や「杜のひろば」があります。

No.	意見の内容	仙台市の考え方
	なので、不登校でも自分らしくいられる場所(フリースクールなど)をもっと増やしてほしいです。 あと、学校に行きたくない人への支援をもっと増やしてほしいです。	また、フリースクールなども増えてきています。学校に行きたくない人が利用できる場所や支援についてどんな取り組みがあるのか知りたいときは、ホームページを見たり、その施設に電話やメールで聞いてみたりしてください。 教育支援センターのホームページには、仙台市で行っているそのほかの支援も含めて、いろいろな情報をのせているので、ぜひ見てみてください。

★基本的な視点3(自分らしい暮らしの実現と、ライフステージに応じた切れ目のない支援の充実)についての意見(5件)

No.	意見の内容	仙台市の考え方
28	夢や希望の実現を支えることを大事にして欲しいです。	令和5年度に行ったこどもへのアンケートでは、「夢や目標をかなえるためにまわりの大人にしてほしいこと」について、「夢や目標実現のためのアドバイスがほしい」「夢や目標を見つける手助けをしてほしい」「お金の援助をしてほしい」「大人の意見を押し付けず、こどもの意見を聞いてほしい」などの回答がありました。
29	海外留学の、補助金を出してほしい。	新しい計画の中では、将来に明るい希望を持ったこども・若者の数を増やすことを目標の一つとしています。 お金の補助なども含めて、こども・若者の夢や希望を実現する手助けとなるような取り組みを、みなさんから意見を聞きながら考えていきます。
30	未就学児や、小学生の子育てや、こどもへの支援をより多くしてほしいと思います。	仙台市ではこれまでも、お父さんやお母さんなど、こどもを育てている人の負担が少しでもへるように、こどもを預かるサービスをしたり、お金
31	お母さんやお父さんの子育てをサポートしたり、支援金を作ったりして、より良い子育てができるようにしてほしいです。	があまりかからないようにしたり、困った時に相談できる場所をつくったり、いろいろな情報

No.	意見の内容 いけん ないよう	仙台市の考え方 せんだいし かんが かつ
32	税金の一部免除や、出産・教育にかかる費用について、高めの補助金を出して市が負担してほしい。	を受け取れるようにするなど、さまざまな取り組みをしてきました。 これからも、みなさんのご意見を参考にしながら、仙台市にくらすみなさんの負担をへらすため、必要な取り組みについて考えていきます。

★基本的な視点4(地域社会全体でこどもの育ちと子育てを応援している環境づくり)についての意見(1件)

No.	意見の内容 いけん ないよう	仙台市の考え方 せんだいし かんが かつ
33	仙台市のどの地域でも一般の人と交流できる場所、時間を作り、さらに、小学生になったら、周りの人と仲良くできる場所や時間を作って、地域の人と仲良くなっていくことがいいと思います。	仙台市では、どの地域の人でも遊びにいける「プレーパーク」と呼ばれる遊び場がふえるよう取り組んでいます。引き続き、プレーパークなど、こどもが地域の人と交流できる場づくりに取り組んでいきます。